

日頃から注意すること

○雨に関する注意

このマップの対象降雨は、平成17年台風14号が接近した際の1時間当たりの降水量28mmを上回る鹿児島市公共下水道基準『66mm』、外水位は当時の最高潮位『TP+2.47m』を想定しています。

項目	降雨量 (mm/時)	外水位 (TPm)
公共下水道基準	<u>66</u>	+1.47
H17.9.6 (台風14号)	28	<u>+2.47</u>

1時間雨量	予報用語	雨のイメージ
10～20mm	やや強い雨	ザーザーと降る
20～30mm	強い雨	どしゃ降り
30～50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る
50～80mm	非常に激しい雨	滝のように降る
80mm以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある

上表に示す『雨の降り方』を参考にして雨量情報等を早くから入手し、状況の把握に努めましょう。最新の降雨状況に関しては、以下のホームページ等で確認ができます。

◇鹿児島市雨量観測システム

本市の観測所(15ヶ所)の雨量データをお知らせします。
<http://www.kagoshima-fd.jp/>

◇鹿児島県河川情報システム

河川の水位・雨量情報を入手できます。
<http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp/>

◇気象庁潮位観測情報

<http://www.jma.go.jp/jp/choi/>

○防災意識の向上

いざという時に速やかに行動ができるように、自分の住んでいる場所がどの程度浸水するおそれがあるのか把握しておきましょう。

実際の浸水状況は設定条件の違いにより、必ずしもこのマップとは一致しない場合もありますので、雨の降り方や屋外の様子に充分注意しましょう。

○ふだんからできる(注意する)こと

・家の周りの側溝の点検を行いましょう。

内水浸水被害は、家の周りの水路(側溝)にゴミや土砂が溜まり、雨水が流れにくくなって発生することがあります。

側溝等について、常に雨水が流れる状態であるか確認しておきましょう。

・家の新築、増改築の際には以下の点にご留意下さい。

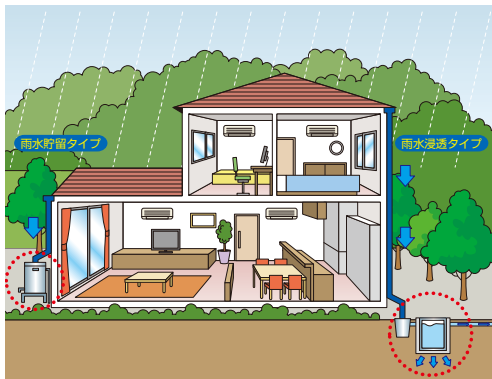
浸水のおそれのある低地区においては、『敷地高のかさ上げ』等により浸水被害を軽減する工夫を行ってください。

また、地下室等を設置する場合は、直接外部への出入口を設けないか、設ける場合は出入口を周辺より高くしましょう。

・市では『個人住宅用・雨水貯留・浸透施設』の設置を助成しています。

鹿児島市では、雨水が一度に川や側溝などに流れ込み溢れることを防ぐために、市民のみなさんご家庭への『雨水貯留・浸透施設』の設置を推進しており、雨水貯留・浸透施設を設置される方に対して助成を行っています。

詳細については以下のホームページでご確認下さい。



出典:鹿児島市ホームページより

◇個人住宅用「雨水貯留・浸透施設」の設置助成制度のご案内

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/kensetu/kensetukanri/kasenkowan/machizukuri/kasen/shisetsu/annai.html>

避難時に注意すること

○最寄りの指定避難場所

このマップ(表図)の凡例を参考にして、お近くの指定避難所をご確認下さい。

番号	施設名	住所
①	鹿児島情報高校	谷山中央2-4118
②	ラ・サール高校	小松原2-10-1
③	東部農協	東谷山2-22-23

※自主的に避難される場合は、あらかじめ地域福祉課または各支所へご連絡下さい。指定避難所を開設します。

◇避難所開設に関するお問い合わせ
鹿児島市 地域福祉課 tel : 099-216-1244
谷山福祉事務所 福祉課 tel : 099-269-8472

○防災情報の入手方法

◇かごしまiマップ(防災マップ)

指定避難所や地震のときの避難場所、土砂災害警戒区域などを確認できます。
<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

→ 「かごしまiマップ」



◇鹿児島市防災情報システム

避難勧告や指定避難所の開設、道路通行止めなどの最新状況をお知らせします。
<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

→ 「防災情報」



○適切な避難行動を

早期避難

気象警報などに注意し、前兆現象に気づいたり身の危険を感じたら、安全な場所へ早めに避難しましょう。

屋外移動の回避

夜間や激しい降雨時、道路冠水時など避難路上の危険箇所の把握が困難な場合は、屋外での移動は極力避けましょう。

垂直避難

既に浸水が始まっている場合、浸水による建物倒壊の危険がない場合には、自宅や近隣建物の2階等へ緊急的に一時避難しましょう。

・避難時には以下の点に注意しましょう。

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1
テレビやインターネットなどによる、天気や災害、避難情報に注意をしてください。 | | 4
階段や川、側溝、マンホールなどに注意して避難しましょう。
(落下の危険があります) | |
| 2
避難時の足元は動きやすい履き物で。
(長靴は水がたまり危険です) | | 5
地下道や地下室は危険です。
大雨時には立入らないようにしましょう。 | |
| 3
お年寄りや、体の不自由な方の避難の手助けをしましょう。 | | 6
車での避難、車の放置は控えましょう。
(緊急車両の妨げになります) | |

・家族等の緊急時連絡先を記入しておきましょう。

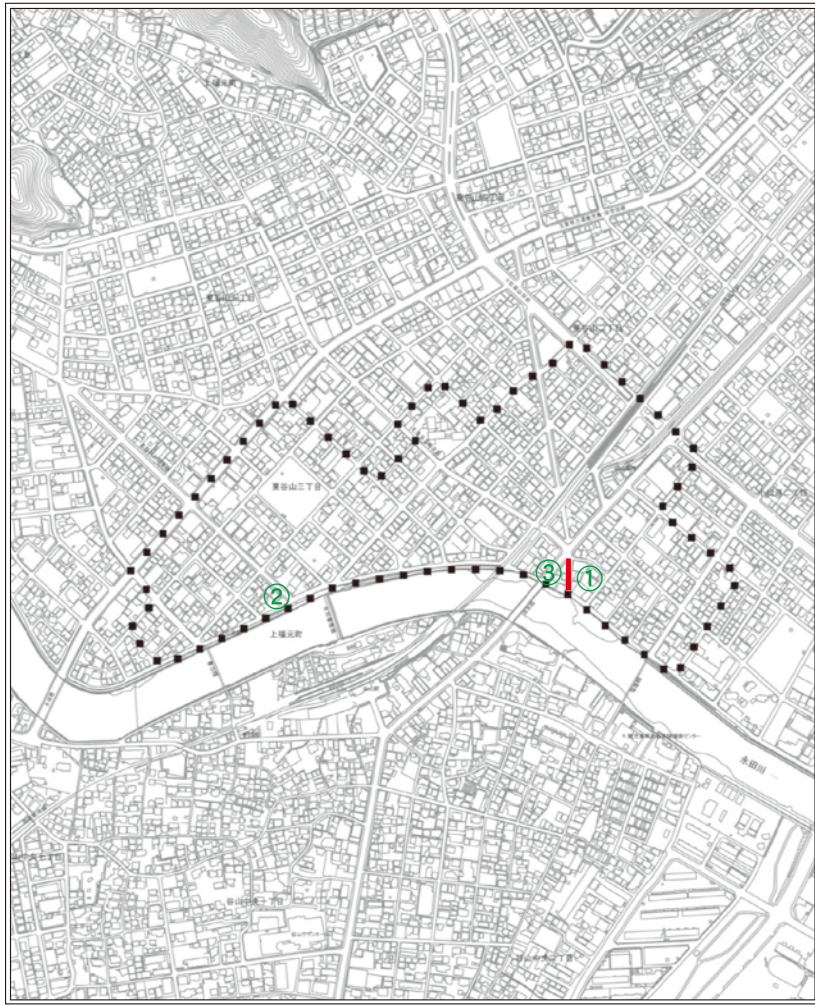
名前	連絡先	備考

公共下水道事業による整備状況

○低地区総合浸水対策緊急事業

桜川地区では、平成16年および平成17年に道路冠水等の浸水被害が発生しました。

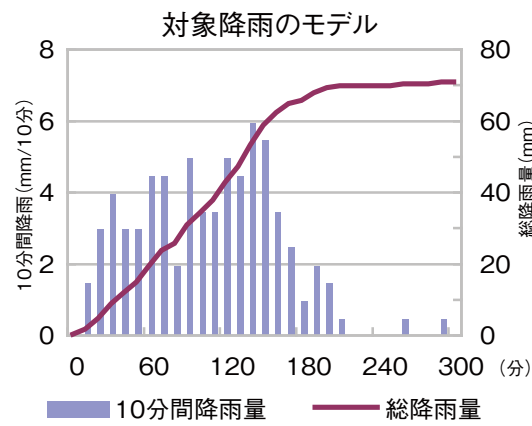
この浸水被害は、大型台風により潮位が通常より上昇し、さらに降雨が重なったことにより発生したものであり、通常の下水道整備では浸水解消が困難であるため、住民の皆様の土のうの活用や避難活動等の自助活動を伴う『低地区総合浸水対策緊急事業』による集中的な整備を行っています。



○計画諸元

低地区総合浸水対策緊急事業は、『平成17年9月6日』の台風14号による被害時降雨をもとに計画されています。

1時間最大雨量	28mm
10分最大雨量	6mm
降雨継続時間	5時間
計画外水位	TP+2.47m



・整備済みの主な対策施設

① 桜川第1雨水ポンプ場

清見橋左岸の下流付近にポンプ場を整備しました。
能力:0.1m³/秒×2台



② 桜川第2雨水ポンプ場

永田管理橋左岸の上流付近にポンプ場を整備します。(H23年度整備予定)
能力:0.1m³/秒×2台

③ 桜川水路の改築

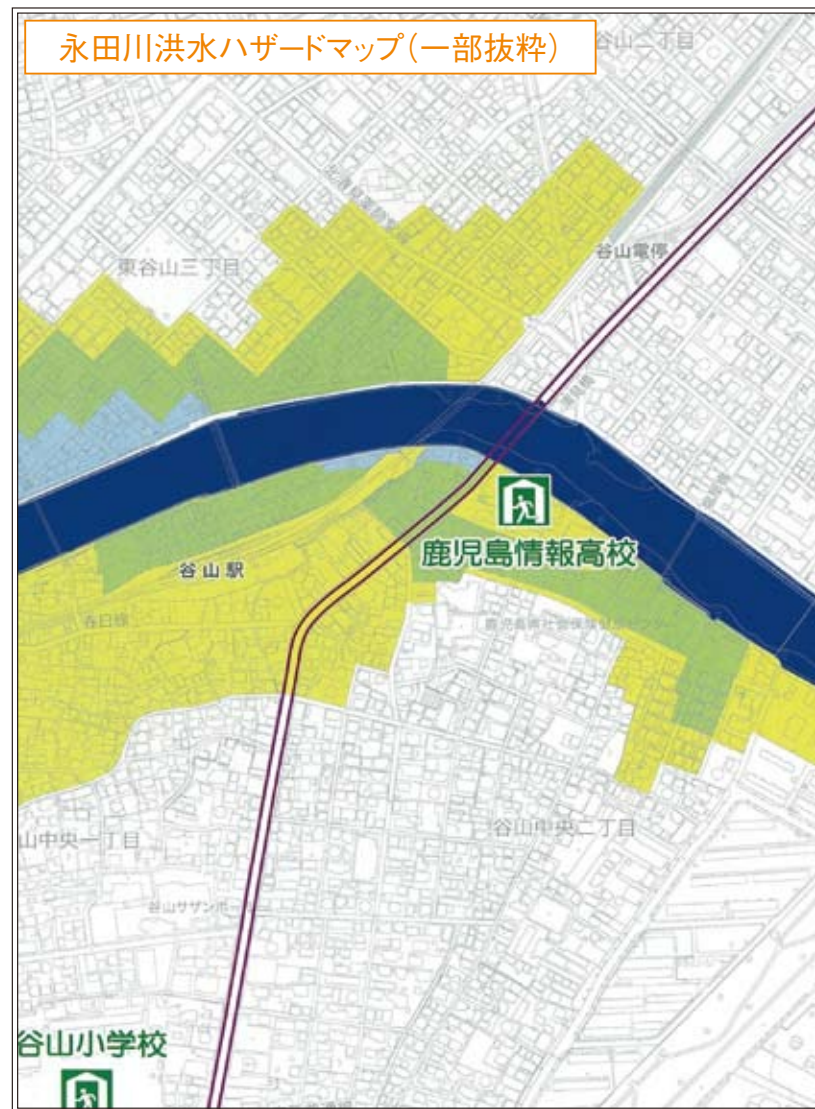
上流部からの雨水が噴出するため、水路の一部を密閉化しました。

その他の災害時情報

○洪水ハザードマップ

鹿児島市では、過去の浸水実績をもとに、主な河川に対して『洪水ハザードマップ』を作成しています。お手持ちのマップにより洪水浸水想定区域をご確認下さい。

(洪水ハザードマップは、河川堤防が決壊するなど堤防から水が溢れてきた際の浸水状況を表します。)



浸水想定水深の色の見方

区分

5m以上	5m以上の水深
20m-50m未満	20m以上の水深
1m-20m未満	1m以上の水深
0.5m-1m未満	0.5m以上の水深
0.5m未満	0.5m以上の水深

この永田川洪水ハザードマップの浸水想定区域は、大雨によって永田川がはん濫した場合(外水はん濫)、予測される浸水範囲と水深を示したものです。
はん濫予測に用いた雨量の条件は50年に1回程度の大雨(永田川流域の1時間雨量61mm)を想定したものです。

凡 例

- 避難所
- 水位観測所
- 消防施設
- 消防分団会
- 防災行政無線
- 屋外拡声器
- 水防倉庫
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地)
- 土砂災害警戒区域(土石流)

・「土のうステーション」とは

台風などの豪雨時に民地内への浸水を防止する手段として、土のう積があります。みなさんが使用できる土のうの保管場所を『土のうステーション』といいます。



◇洪水ハザードマップに関するお問い合わせ

鹿児島市 安心安全課 tel:099-216-1213

◇土のうステーションに関するお問い合わせ

鹿児島市 谷山建設課 tel:099-269-8445

○過去の浸水被害

鹿児島市では、平成5年8月6日の集中豪雨等により大規模な浸水被害が発生しました。

(写真は甲突川洪水ハザードマップより)

・当時の浸水被害状況



・「8.6豪雨災害」の記録

24時間雨量	384mm
郡山町	259mm
鹿児島地方気象台	

1時間最大雨量	99.5mm
郡山町	94.0mm
伊敷分遣隊	

主な浸水被害状況	
床上・床下浸水	11,090棟
武之橋、新上橋	流失